

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計

第1章 高齢化の現状と推計

1 高齢化の現状と推計

平成20年4月1日現在の総人口は1,166,778人になっており、計画圏域で見ると、石川中央が6割、南加賀が2割、能登中部・北部で2割という構成割合となっています。

65歳以上の高齢者人口は261,142人となっており、高齢化率は22.4%で、計画圏域で見ると、能登北部の36.3%が最も高く、以下、能登中部、南加賀の順で、最も低い石川中央は19.5%となっています。

また、75歳以上の後期高齢者人口は130,233人となっており、構成割合は高齢者数の状況とほぼ同様になっています。

圏域別年齢階層別人口(平成20年4月1日)

(単位:人)

圏域名	総人口		65歳以上			75歳以上		
	総人口	構成割合	65歳以上	高齢化率	構成割合	75歳以上	後期高齢化率	構成割合
南加賀	238,532	20.4%	53,587	22.5%	20.5%	26,235	11.0%	20.1%
石川中央	699,038	59.9%	136,080	19.5%	52.1%	65,252	9.3%	50.1%
能登中部	145,009	12.4%	40,917	28.2%	15.7%	21,842	15.1%	16.8%
能登北部	84,199	7.2%	30,558	36.3%	11.7%	16,904	20.1%	13.0%
計	1,166,778	100.0%	261,142	22.4%	100.0%	130,233	11.2%	100.0%

市町老人福祉主管課調

介護保険制度がスタートした平成12年以降の高齢者人口等の状況は、総人口が減少していく中で、高齢者人口も平成37年を境に増加から減少に転じ、また後期高齢者人口は平成42年を境に増加から減少に転じると見込まれます。

前期高齢者(65歳~74歳)と後期高齢者(75歳以上)の人口は、平成27年を境に後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回ると見込まれます。

また、高齢化率は、全国の高齢化率と比較すると、約1.0ポイント上回って推移していくと見込まれます。

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計

高齢者人口及び高齢化率の推移(各年10月1日時点)

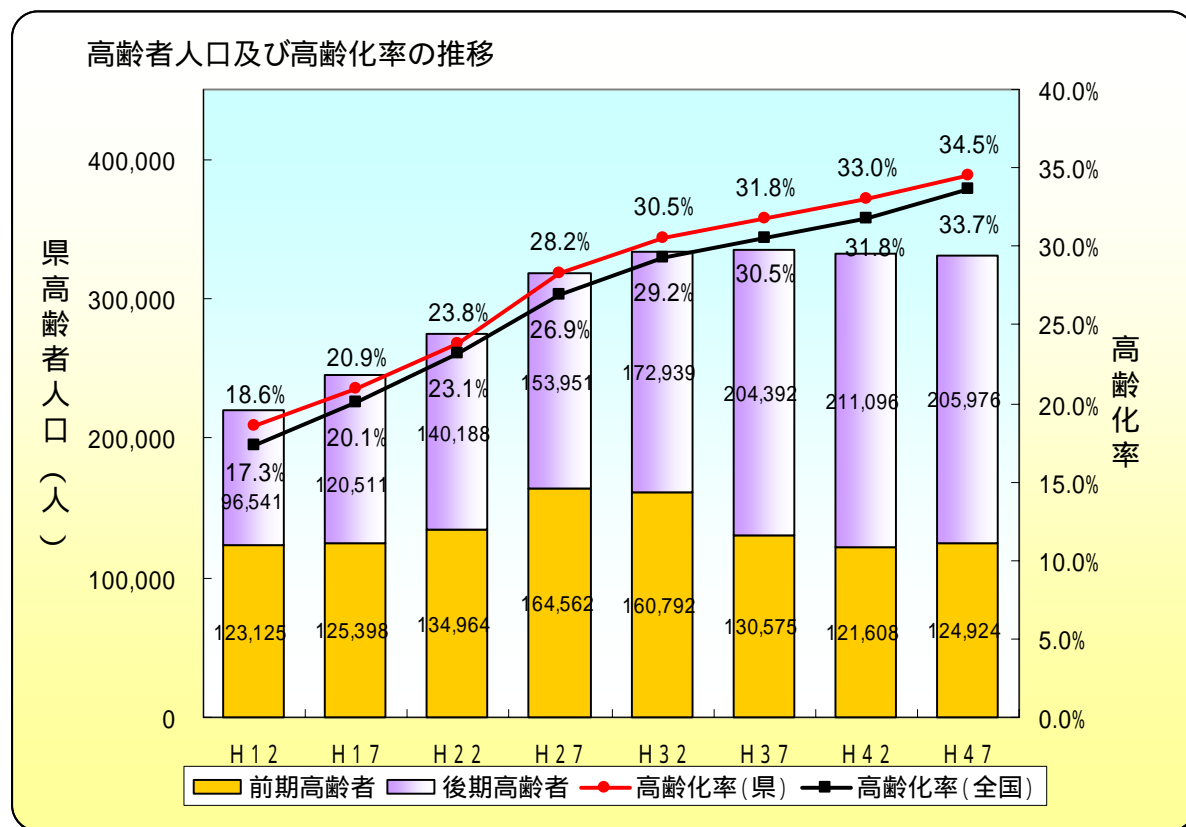
(単位:人)

区分	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
総人口	1,180,977	1,174,026	1,154,943	1,127,760	1,093,132	1,052,873	1,008,576	959,916
高齢者人口	219,666	245,909	275,152	318,513	333,731	334,967	332,704	330,900
前期高齢者	123,125	125,398	134,964	164,562	160,792	130,575	121,608	124,924
後期高齢者	96,541	120,511	140,188	153,951	172,939	204,392	211,096	205,976
高齢化率(県)	18.6%	20.9%	23.8%	28.2%	30.5%	31.8%	33.0%	34.5%
前期高齢化率	10.4%	10.7%	11.7%	14.6%	14.7%	12.4%	12.1%	13.0%
後期高齢化率	8.2%	10.3%	12.1%	13.7%	15.8%	19.4%	20.9%	21.5%

高齢化率(全国)	17.3%	20.1%	23.1%	26.9%	29.2%	30.5%	31.8%	33.7%
前期高齢化率	10.2%	11.0%	11.9%	13.8%	14.0%	12.3%	12.2%	13.5%
後期高齢化率	7.1%	9.1%	11.2%	13.1%	15.3%	18.2%	19.7%	20.2%

平成12年は国勢調査。

平成17年以降は日本の市区町村別将来推計人口・平成20年12月推計(国立社会保障・人口問題研究所)より
前期高齢者とは65～74歳の高齢者、後期高齢者とは75歳以上の高齢者をいう。

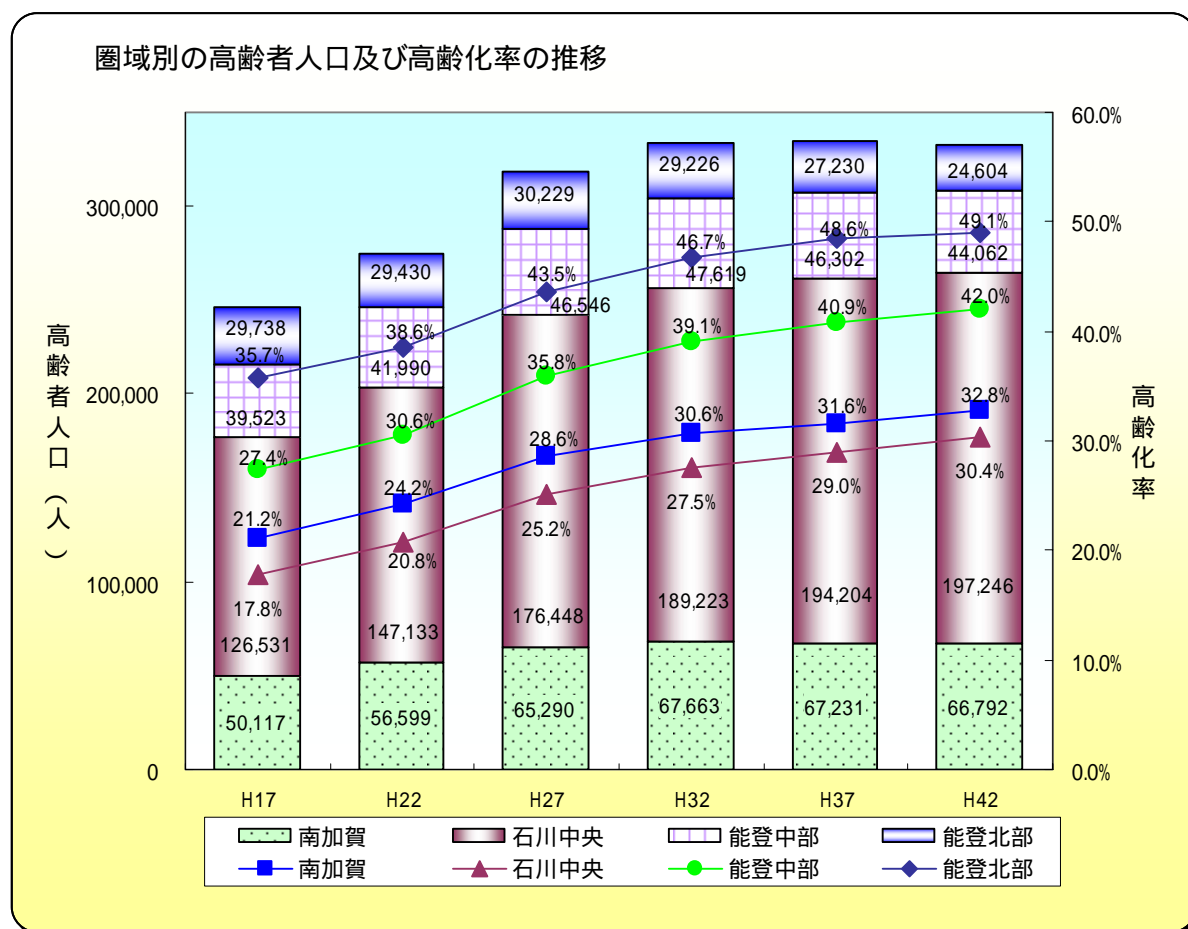


圏域別の高齢者人口及び高齢化率の推移(各年10月1日時点)

(単位:人)

区 分		H17	H22	H27	H32	H37	H42
南加賀	総人口	236,950	233,522	228,114	220,983	212,740	203,747
	65歳以上人口	50,117	56,599	65,290	67,663	67,231	66,792
	高齢化率	21.2%	24.2%	28.6%	30.6%	31.6%	32.8%
石川中央	総人口	709,489	707,700	700,362	687,888	670,808	649,759
	65歳以上人口	126,531	147,133	176,448	189,223	194,204	197,246
	高齢化率	17.8%	20.8%	25.2%	27.5%	29.0%	30.4%
能登中部	総人口	144,373	137,424	129,836	121,672	113,251	104,940
	65歳以上人口	39,523	41,990	46,546	47,619	46,302	44,062
	高齢化率	27.4%	30.6%	35.8%	39.1%	40.9%	42.0%
能登北部	総人口	83,214	76,297	69,448	62,589	56,074	50,130
	65歳以上人口	29,738	29,430	30,229	29,226	27,230	24,604
	高齢化率	35.7%	38.6%	43.5%	46.7%	48.6%	49.1%

日本の市区町村別将来推計人口・平成20年12月推計(国立社会保障・人口問題研究所)より



第2部 高齢化と要介護者の現状と推計

平均寿命は、平成17年で男は79.3歳、女は86.5歳となっており、昭和55年と比較すると、男は5.8歳、女は7.6歳伸びています。

また、全国との比較では、男女とも全国の平均を上回っています。

平均寿命の推移

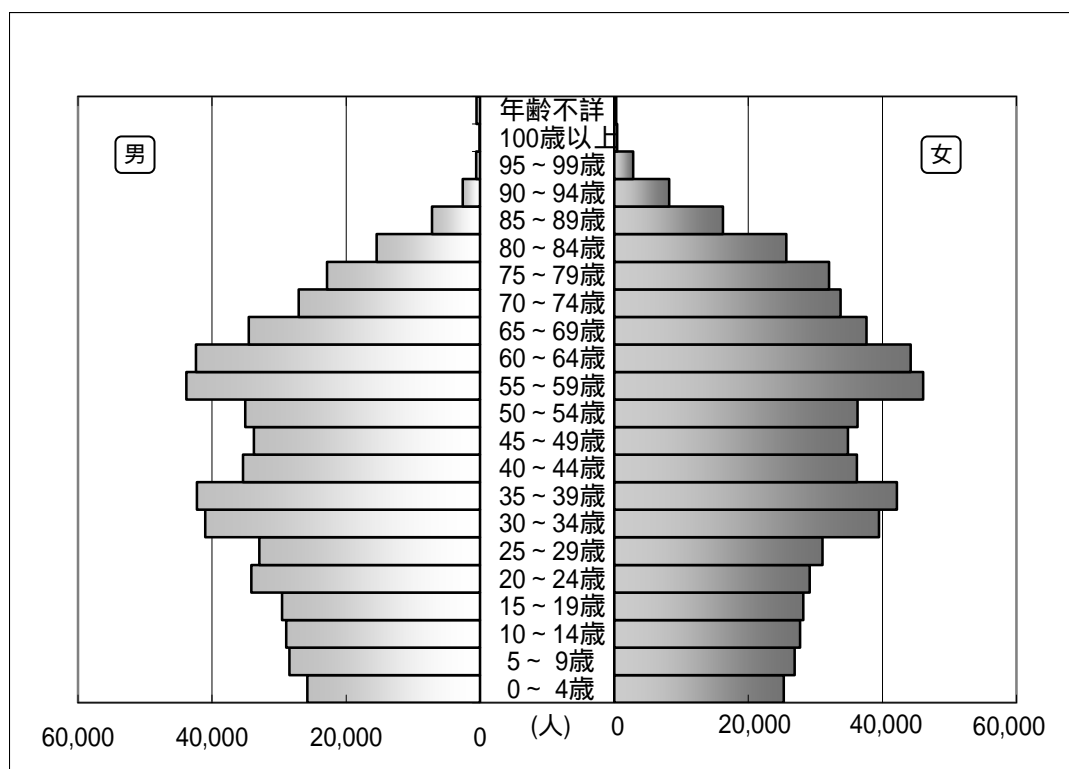
(単位:歳)

区分	性別	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
石川県	男	73.5	75.3	76.4	77.2	78.0	79.3
	女	78.9	80.9	82.2	83.5	85.2	86.5
全国	男	73.6	75.0	76.0	76.7	77.7	78.8
	女	79.0	80.8	82.1	83.2	84.6	85.6

都道府県生命表(厚生労働省)より

人口構造では、いわゆる「団塊の世代」を含む「55～59歳」、「60～64歳」の層が多く、また、「団塊ジュニア」を含む「30～34歳」、「35～39歳」の層も多くなっています。

本県の人口ピラミッド(平成20年10月1日推計値)



第4期介護保険事業計画期間中の高齢者数見込み (単位:人)

区 分	高齢者数	高齢者数	
		前期高齢者	後期高齢者
平成21年度	271,077	135,019	136,058
平成22年度	275,990	136,485	139,505
平成23年度	282,216	139,760	142,456

各市町の第4期介護保険事業計画における市町推計値の集計(各年10月1日時点)

2 ひとり暮らし高齢者の現状と推計

ひとり暮らし高齢者の数は、平成12年以降増加が続き、高齢者数に占める割合は平成12年の10.8%から平成37年には16.0%と約1.5倍の増加となっています。また、平成12年と平成37年で比較すると、高齢者数の約1.5倍に対し、ひとり暮らし高齢者数は約2.3倍の増加となっており、ひとり暮らし高齢者数は高齢者数を大きく上回る早さで増加すると見込まれます。

ひとり暮らし高齢者数の推移

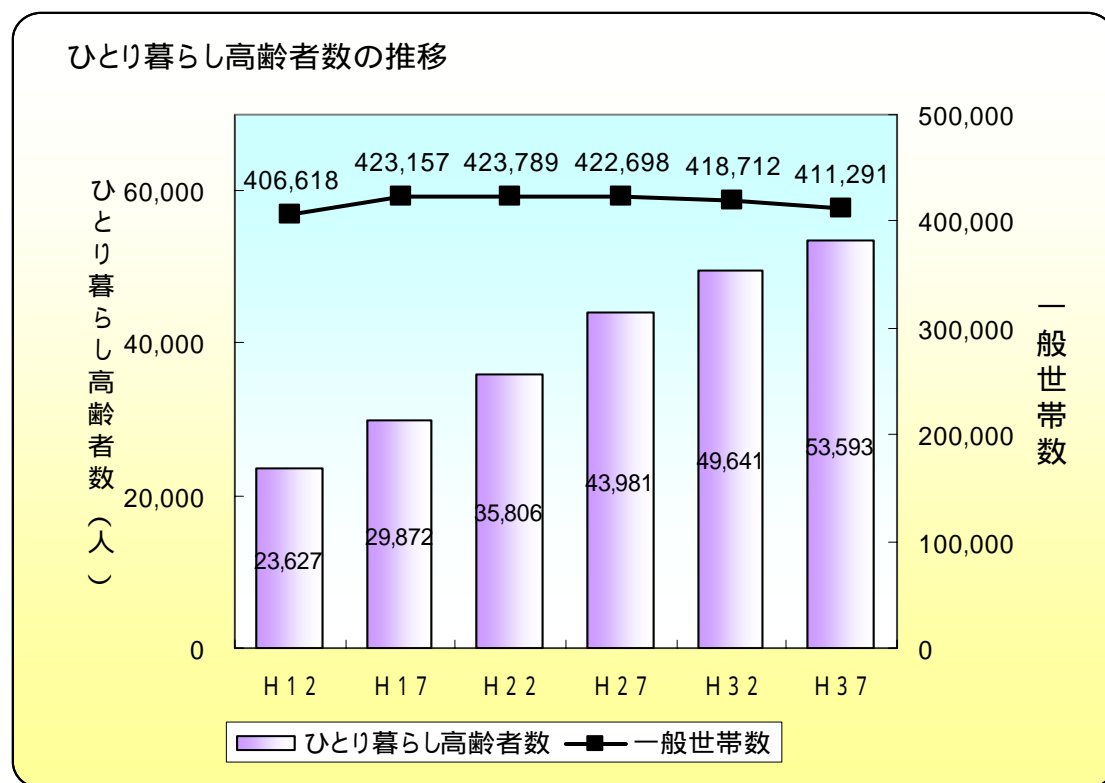
(単位:人)

区 分	H12	H17	H22	H27	H32	H37	対H12 増減率
高 齢 者 数 a	219,666	245,909	275,152	318,513	333,731	334,967	52.5%
ひとり暮らし高齢者数 b	23,627	29,872	35,806	43,981	49,641	53,593	126.8%
割 合 b/a	10.8%	12.1%	13.0%	13.8%	14.9%	16.0%	-

一般世帯数	406,618	423,157	423,789	422,698	418,712	411,291	1.15%
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------

高齢者数：平成12年は国勢調査。平成17年以降は日本の市区町村別将来推計人口・平成20年12月推計(国立社会保障・人口問題研究所)より

ひとり暮らし高齢者数および一般世帯数：平成12年～17年は国勢調査。平成22年以降は「日本の世帯数の将来推計・都道府県別推計(平成17年8月推計)(国立社会保障・人口問題研究所)」より



第2章 要介護者等の現状と推計

1 要介護認定者の現状と推計

(1) 要介護認定者の推移

要介護認定者数（要支援を含む）は、介護保険制度スタートの平成12年の23,851人が、平成20年には45,289人で約2倍となっています。

第1号被保険者（65歳以上の高齢者）に対する要介護認定者の割合である要介護認定率は、平成12年の11.0%から毎年1ポイント以上の伸びでしたが、平成17年に伸びが鈍化し、以後は17%前後で推移しています。これは介護保険制度が定着し、要介護認定の必要があると思われる高齢者の認定申請がおおむね行われたためと考えられます。

要介護認定者を年齢別の割合で見ると、平成20年では、第2号被保険者（40歳～64歳）は2.6%、前期高齢者は11.4%、後期高齢者は86.0%となっており、平成12年と比べると前期高齢者の割合が減少し、それ以外は増加しています。また、平成20年の第1号被保険者の要介護認定率を見ると、前期高齢者の3.9%に対し、後期高齢者は29.8%と約7.5倍となっています。

なお、本県の要介護認定率は、全国平均を上回る状況で推移しています。

要介護認定者数及び要介護認定率の推移

(単位:人)

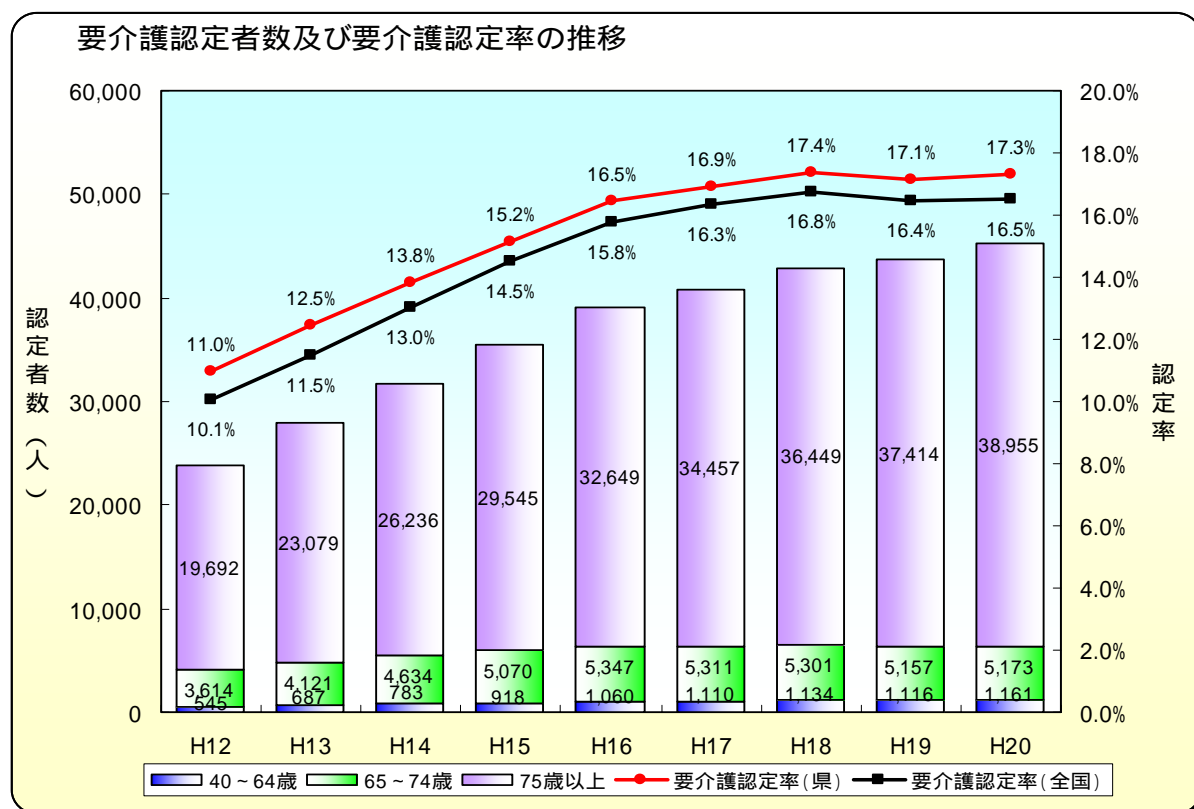
区 分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	対H12 増減率
第1号被保険者 a	216,900	223,524	228,901	234,289	237,089	241,292	246,905	254,969	261,884	20.7%
うち65～74歳 b	122,773	124,358	125,412	126,480	124,011	124,098	124,933	128,750	131,195	6.9%
うち75歳以上 c	94,127	99,166	103,489	107,809	113,078	117,194	121,972	126,219	130,689	38.8%
要介護認定者数 d	23,851	27,887	31,653	35,533	39,056	40,878	42,884	43,687	45,289	89.9%
うち40～64歳 e	545	687	783	918	1,060	1,110	1,134	1,116	1,161	113.0%
構成率	2.3%	2.5%	2.5%	2.6%	2.7%	2.7%	2.6%	2.6%	2.6%	-
うち65～74歳 f	3,614	4,121	4,634	5,070	5,347	5,311	5,301	5,157	5,173	43.1%
構成率	15.1%	14.8%	14.6%	14.3%	13.7%	13.0%	12.4%	11.8%	11.4%	-
うち75歳以上 g	19,692	23,079	26,236	29,545	32,649	34,457	36,449	37,414	38,955	97.8%
構成率	82.6%	82.7%	82.9%	83.1%	83.6%	84.3%	85.0%	85.6%	86.0%	-

要介護認定率(県) d/a	11.0%	12.5%	13.8%	15.2%	16.5%	16.9%	17.4%	17.1%	17.3%
うち65～74歳 f/b	2.9%	3.3%	3.7%	4.0%	4.3%	4.3%	4.2%	4.0%	3.9%
うち75歳以上 g/c	20.9%	23.3%	25.4%	27.4%	28.9%	29.4%	29.9%	29.6%	29.8%
要介護認定率(全国)	10.1%	11.5%	13.0%	14.5%	15.8%	16.3%	16.8%	16.4%	16.5%

「介護保険事業状況報告(各年4月末現在)」より

要介護認定者は要支援認定を含む。

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計



(2) 要介護度別認定者の推移

要介護認定者の要介護度別の構成割合を見ると、平成20年では要支援及び要介護1の軽度者は18,304人で40.4%、要介護4及び5の重度は11,308人で25.0%となっています。

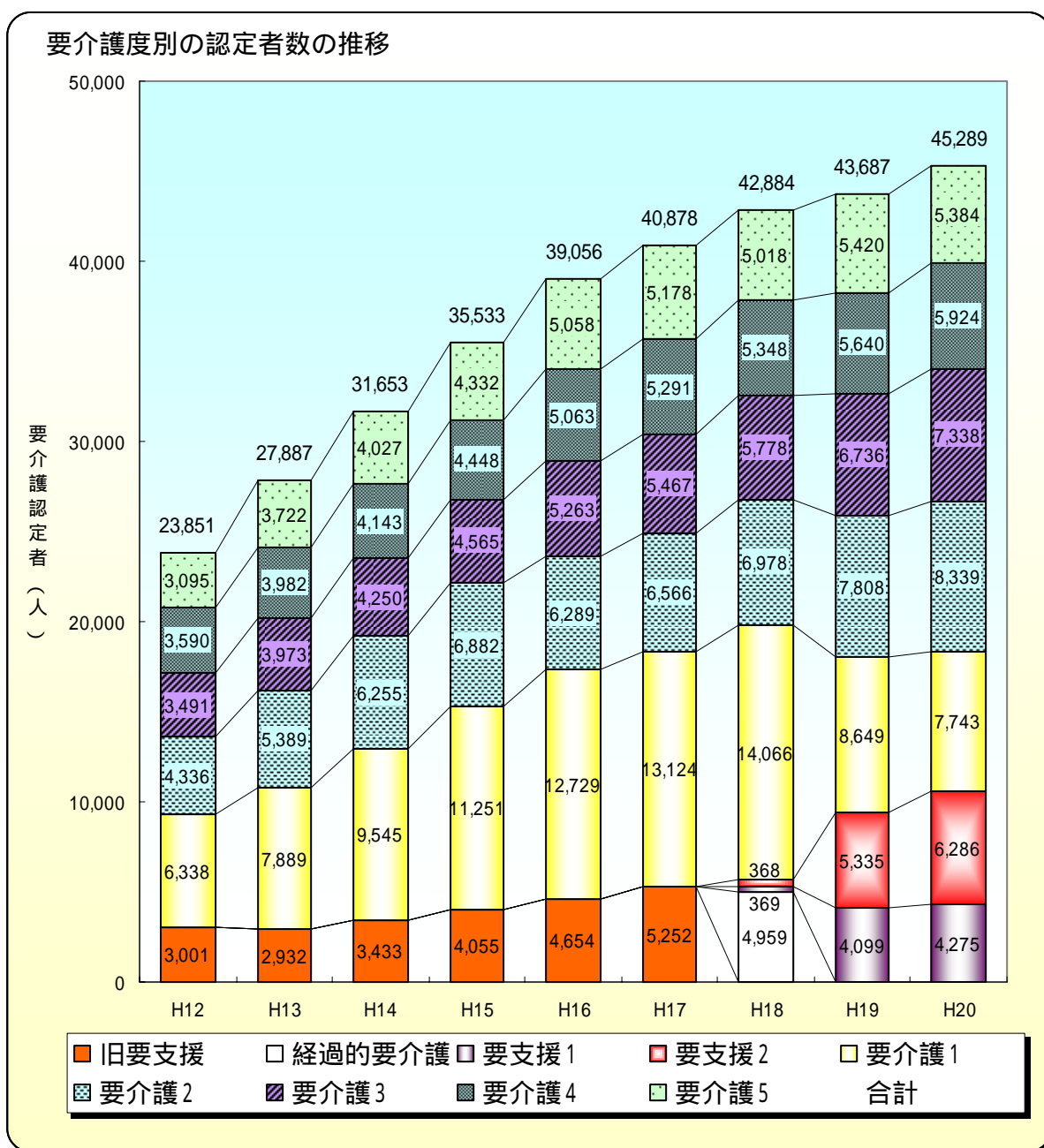
構成割合を平成12年と比べると、軽度及び中度の割合が増加し、重度の割合が減少しています。

要介護度別の認定者数の推移

(単位:人)

区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	対H12増減率
第1号被保険者	216,900	223,524	228,901	234,289	237,089	241,292	246,905	254,969	261,884	20.7%
旧要支援	3,001	2,932	3,433	4,055	4,654	5,252				42.5%
経過的要介護							4,959			
要支援1							369	4,099	4,275	121.3%
要支援2							368	5,335	6,286	
要介護1	6,338	7,889	9,545	11,251	12,729	13,124	14,066	8,649	7,743	92.3%
要介護2	4,336	5,389	6,255	6,882	6,289	6,566	6,978	7,808	8,339	
要介護3	3,491	3,973	4,250	4,565	5,263	5,467	5,778	6,736	7,338	110.2%
要介護4	3,590	3,982	4,143	4,448	5,063	5,291	5,348	5,640	5,924	65.0%
要介護5	3,095	3,722	4,027	4,332	5,058	5,178	5,018	5,420	5,384	74.0%
合計	23,851	27,887	31,653	35,533	39,056	40,878	42,884	43,687	45,289	89.9%

「介護保険事業状況報告(各年4月末現在)」より



(3) 圏域別の要介護度別認定者の推移

平成20年の要介護認定者を圏域別で見ると、高齢者人口の最も多い石川中央が24,704人で最も多く、以下、南加賀、能登中部、能登北部の順となっています。増減率でも石川中央が最も高く、特に要支援や要介護1の軽度者が著しく増加しています。また、要介護認定率についても、石川中央が18.1%と最も高く、以下、能登中部、南加賀、能登北部の順となっています。

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計

要介護認定者数及び要介護認定率の推移【南加賀】

(単位:人)

区 分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	対H12 増減率
第1号被保険者 a	43,822	45,126	46,308	47,580	48,157	49,184	50,577	52,272	53,766	22.7%
旧 要 支 援	631	696	738	797	931	1,033	/	/	/	3.6%
経過的要介護	/	/	/	/	/	/	941	/	/	
要 支 援 1	/	/	/	/	/	/	81	635	654	
要 支 援 2	/	/	/	/	/	/	85	1,106	1,200	73.4%
要 介 護 1	1,450	1,723	2,053	2,338	2,452	2,594	2,677	1,388	1,314	
要 介 護 2	787	997	1,188	1,340	1,221	1,338	1,423	1,664	1,680	113.5%
要 介 護 3	704	760	811	945	1,116	1,097	1,220	1,420	1,475	109.5%
要 介 護 4	674	811	865	929	1,091	1,150	1,160	1,219	1,316	95.3%
要 介 護 5	658	713	730	826	955	1,034	1,031	1,104	1,159	76.1%
合 計 b	4,904	5,700	6,385	7,175	7,766	8,246	8,618	8,536	8,798	79.4%

要介護認定率 b/a	11.2%	12.6%	13.8%	15.1%	16.1%	16.8%	17.0%	16.3%	16.4%
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

注) 「介護保険事業状況報告(各年4月末現在)」より

要介護認定者数及び要介護認定率の推移【石川中央】

(単位:人)

区 分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	対H12 増減率
第1号被保険者 a	107,986	111,714	114,860	118,045	119,988	122,792	126,393	131,721	136,532	26.4%
旧 要 支 援	1,186	1,168	1,442	1,876	2,198	2,507	/	/	/	85.8%
経過的要介護	/	/	/	/	/	/	2,350	/	/	
要 支 援 1	/	/	/	/	/	/	165	2,110	2,203	
要 支 援 2	/	/	/	/	/	/	176	3,155	3,933	178.3%
要 介 護 1	2,986	3,986	4,985	6,025	7,063	7,398	8,221	5,065	4,377	
要 介 護 2	2,407	2,947	3,426	3,746	3,479	3,596	3,862	4,229	4,673	94.1%
要 介 護 3	1,838	2,143	2,319	2,459	2,793	2,929	3,059	3,580	3,993	117.2%
要 介 護 4	1,903	2,118	2,155	2,256	2,583	2,691	2,758	2,921	3,007	58.0%
要 介 護 5	1,473	1,838	2,046	2,180	2,580	2,593	2,372	2,624	2,518	70.9%
合 計 b	11,793	14,200	16,373	18,542	20,696	21,714	22,963	23,684	24,704	109.5%

要介護認定率 b/a	10.9%	12.7%	14.3%	15.7%	17.2%	17.7%	18.2%	18.0%	18.1%
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

注) 「介護保険事業状況報告(各年4月末現在)」より

要介護認定者数及び要介護認定率の推移【能登中部】

(単位:人)

区 分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	対H12 増減率
第1号被保険者 a	36,206	37,255	37,985	38,608	38,853	39,230	39,680	40,475	41,002	13.2%
旧 要 支 援	613	570	675	736	770	919				32.5%
経過的要介護							867			
要 支 援 1							62	729	812	87.8%
要 支 援 2							74	610	680	
要 介 護 1	994	1,211	1,450	1,712	1,842	1,755	1,779	1,267	1,187	95.2%
要 介 護 2	606	766	862	950	895	927	984	1,122	1,183	
要 介 護 3	550	594	592	641	753	820	890	1,045	1,115	102.7%
要 介 護 4	596	618	691	720	798	875	880	924	984	65.1%
要 介 護 5	551	619	673	699	823	836	902	984	1,006	82.6%
合 計 b	3,910	4,378	4,943	5,458	5,881	6,132	6,438	6,681	6,967	78.2%

要介護認定率 b/a	10.8%	11.8%	13.0%	14.1%	15.1%	15.6%	16.2%	16.5%	17.0%
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

注) 「介護保険事業状況報告(各年4月末現在)」より

要介護認定者数及び要介護認定率の推移【能登北部】

(単位:人)

区 分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	対H12 増減率
第1号被保険者 a	28,886	29,429	29,748	30,056	30,091	30,086	30,255	30,501	30,584	5.9%
旧 要 支 援	571	498	578	646	755	793				6.1%
経過的要介護							801			
要 支 援 1							61	625	606	47.4%
要 支 援 2							33	464	473	
要 介 護 1	908	969	1,057	1,176	1,372	1,377	1,389	929	865	49.8%
要 介 護 2	536	679	779	846	694	705	709	793	803	
要 介 護 3	399	476	528	520	601	621	609	691	755	89.2%
要 介 護 4	417	435	432	543	591	575	550	576	617	48.0%
要 介 護 5	413	552	578	627	700	715	713	708	701	69.7%
合 計 b	3,244	3,609	3,952	4,358	4,713	4,786	4,865	4,786	4,820	48.6%

要介護認定率 b/a	11.2%	12.3%	13.3%	14.5%	15.7%	15.9%	16.1%	15.7%	15.8%
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

注) 「介護保険事業状況報告(各年4月末現在)」より

(4) 要介護度別認定者の推計

平成20年の要介護認定者は46,116人、要介護認定率は17.5%で、第4期計画の最終年度である平成23年では、要介護認定者数は51,320人、要介護認定率は18.3%と推計されています。

平成23年の要介護認定者の増減率は11.3%で、第1号被保険者の増減率6.3%を上回っています。また、要介護認定率は平成21年以降も毎年、少しずつ高くなっています。

要介護認定者数の推計【県全体】

(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				対H20 増減率	H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23				
第1号被保険者数 a	264,238	269,576	274,558	280,834	6.3%	308,372	16.7%	
要支援1	4,444	4,760	5,053	5,346	20.3%	6,281	41.3%	
要支援2	6,588	7,127	7,386	7,504	13.9%	7,917	20.2%	
要介護1	7,713	7,373	7,378	7,523	2.5%	8,024	4.0%	
要介護2	8,287	8,645	8,998	9,354	12.9%	10,507	26.8%	
要介護3	7,444	7,888	8,294	8,690	16.7%	9,992	34.2%	
要介護4	6,009	6,247	6,515	6,781	12.8%	7,590	26.3%	
要介護5	5,631	5,759	5,944	6,122	8.7%	6,754	19.9%	
合 計 b	46,116	47,799	49,568	51,320	11.3%	57,065	23.7%	
要介護認定率 b/a	17.5%	17.7%	18.1%	18.3%	-	18.5%	-	

各年10月1日時点

上記推計値は、市町報告値の積み上げ

(5) 圏域別の要介護度別認定者の推計

平成23年の要介護認定者の増減率を見ると、13.3%の石川中央が最も高く、以下、能登中部、南加賀、能登北部の順となっています。また、要介護認定率も18.9%の石川中央が最も高く、以下、要介護認定者の伸び率と同じ順となっています。

要介護認定者数の推計【南加賀】

(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				対H20 増減率	H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23				
第1号被保険者数 a	54,386	55,825	56,506	56,972	4.8%	63,220	16.2%	
要支援 1	692	713	725	738	6.6%	792	14.5%	
要支援 2	1,242	1,276	1,303	1,329	7.0%	1,438	15.8%	
要介護 1	1,370	1,414	1,445	1,476	7.7%	1,586	15.8%	
要介護 2	1,640	1,700	1,740	1,782	8.7%	1,959	19.5%	
要介護 3	1,511	1,574	1,616	1,656	9.6%	1,818	20.3%	
要介護 4	1,344	1,382	1,448	1,513	12.6%	1,638	21.9%	
要介護 5	1,185	1,228	1,289	1,351	14.0%	1,461	23.3%	
合 計 b	8,984	9,287	9,566	9,845	9.6%	10,692	19.0%	
要介護認定率 b/a	16.5%	16.6%	16.9%	17.3%	-	16.9%	-	

各年10月1日時点

上記推計値は、市町報告値の積み上げ

要介護認定者数の推計【石川中央】

(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				対H20 増減率	H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23				
第1号被保険者数 a	138,198	141,618	145,729	151,021	9.3%	168,525	21.9%	
要支援 1	2,340	2,607	2,855	3,103	32.6%	3,883	65.9%	
要支援 2	4,153	4,632	4,823	4,875	17.4%	5,054	21.7%	
要介護 1	4,193	3,829	3,756	3,828	8.7%	4,059	3.2%	
要介護 2	4,657	4,841	5,097	5,359	15.1%	6,196	33.0%	
要介護 3	4,083	4,358	4,654	4,958	21.4%	5,933	45.3%	
要介護 4	3,063	3,194	3,346	3,504	14.4%	4,051	32.3%	
要介護 5	2,656	2,713	2,783	2,850	7.3%	3,214	21.0%	
合 計 b	25,145	26,174	27,314	28,477	13.3%	32,390	28.8%	
要介護認定率 b/a	18.2%	18.5%	18.7%	18.9%	-	19.2%	-	

各年10月1日時点

上記推計値は、市町報告値の積み上げ

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計

要介護認定者数の推計【能登中部】

(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				対H20 増減率	H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23				
第1号被保険者数 a	41,031	41,555	41,845	42,366	3.3%	45,570	11.1%	
要支援 1	767	806	834	857	11.7%	944	23.1%	
要支援 2	712	719	745	769	8.0%	853	19.8%	
要介護 1	1,233	1,268	1,324	1,363	10.5%	1,502	21.8%	
要介護 2	1,204	1,245	1,273	1,309	8.7%	1,454	20.8%	
要介護 3	1,131	1,185	1,232	1,269	12.2%	1,408	24.5%	
要介護 4	994	1,033	1,074	1,107	11.4%	1,226	23.3%	
要介護 5	1,055	1,088	1,131	1,168	10.7%	1,303	23.5%	
合 計 b	7,096	7,344	7,613	7,842	10.5%	8,690	22.5%	
要介護認定率 b/a	17.3%	17.7%	18.2%	18.5%	-	19.1%	-	

各年10月1日時点

上記推計値は、市町報告値の積み上げ

要介護認定者数の推計【能登北部】

(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				対H20 増減率	H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23				
第1号被保険者数 a	30,623	30,578	30,478	30,475	0.5%	31,057	1.4%	
要支援 1	645	634	639	648	0.5%	662	2.6%	
要支援 2	481	500	515	531	10.4%	572	18.9%	
要介護 1	917	862	853	856	6.7%	877	4.4%	
要介護 2	786	859	888	904	15.0%	898	14.2%	
要介護 3	719	771	792	807	12.2%	833	15.9%	
要介護 4	608	638	647	657	8.1%	675	11.0%	
要介護 5	735	730	741	753	2.4%	776	5.6%	
合 計 b	4,891	4,994	5,075	5,156	5.4%	5,293	8.2%	
要介護認定率 b/a	16.0%	16.3%	16.7%	16.9%	-	17.0%	-	

各年10月1日時点

上記推計値は、市町報告値の積み上げ

2 寝たきり高齢者の現状と推計

平成20年10月1日現在の寝たきり高齢者数(注)は、16,310人で、これは要介護認定者の35.4%を占めており、平成23年には18,273人、平成26年には20,470人になるものと予測されます。

寝たきり高齢者の現状と推計

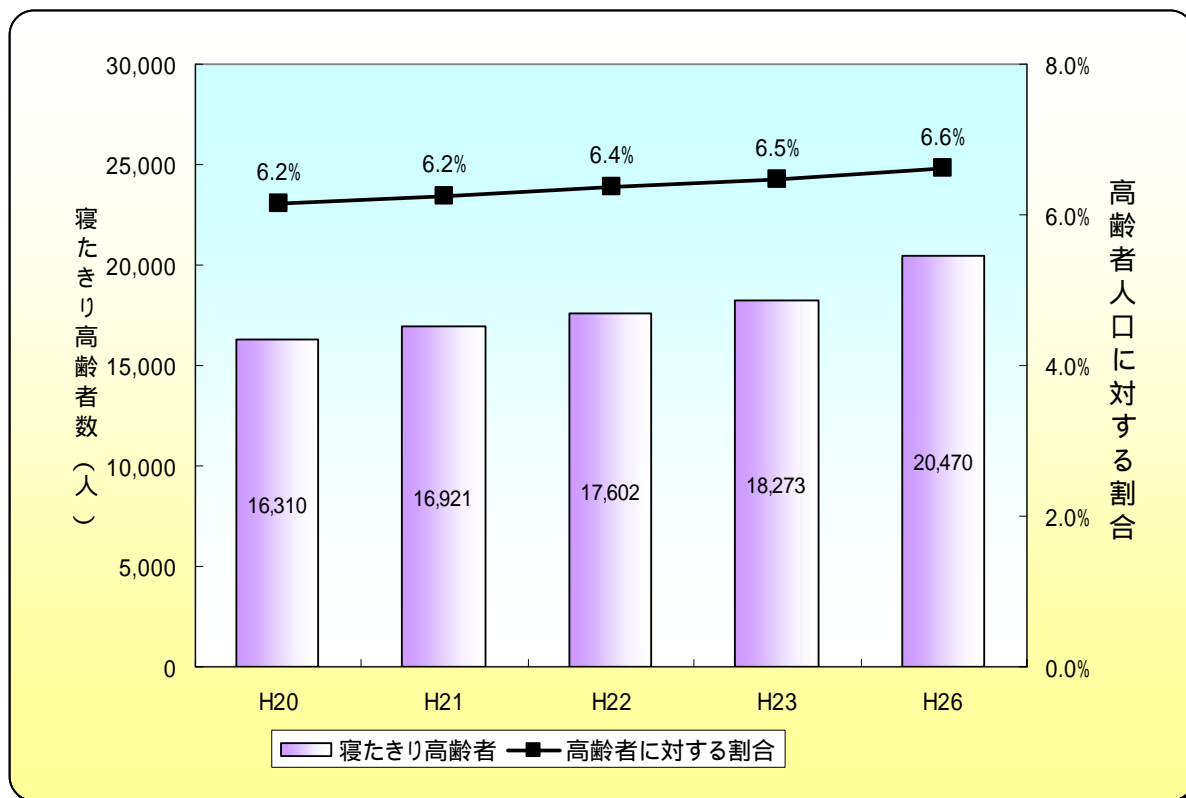
(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				対H20 増減率	H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23	対H20 増減率			
高 齢 者 人 口 a	265,079	271,077	275,990	282,216	6.5%	309,301	16.7%	
要 介 護 認 定 者 b	46,116	47,799	49,568	51,320	11.3%	57,065	23.7%	
寝 た き り 高 齢 者 c	16,310	16,921	17,602	18,273	12.0%	20,470	25.5%	
高 齢 者 対 する 割 合 c/a	6.2%	6.2%	6.4%	6.5%	-	6.6%	-	
認 定 者 対 する 割 合 c/b	35.4%	35.4%	35.5%	35.6%	-	35.9%	-	

寝たきり高齢者の推計値については、要介護度別の認定者数に要介護度別の寝たきり高齢者の割合(「要介護度別の日常生活自立度ランクの状況に係る調査(平成20年10月1日時点)」より)を乗じて算出
各年10月1日時点

(注)寝たきり高齢者とは、「『障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準』の活用について」(大臣官
房老人保健福祉部長通知)に基づき「ランクB」及び「ランクC」と判定された者とした。

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 1 交通機関等を利用して外出する。 2 隣近所へなら外出する。
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体ではあるが座位を保つ。 1 車いすに移乗し、食事、排せつはベッドから離れて行う。 2 介助により車いすに移乗する。
	ランクC	1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する。 1 自力で寝返りをうつ。 2 自力では寝返りもうたない。



要介護認定者に対する寝たきり高齢者の割合

要介護区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
割合	0.3%	2.0%	4.2%	19.2%	49.3%	84.3%	98.0%

「要介護度別の日常生活自立度ランクの状況に係る調査(平成20年10月1日時点)」により推計
平成20年10月1日時点

3 認知症高齢者の現状と推計

平成20年10月1日現在の認知症高齢者数(注)は、29,031人で、これは要介護認定者の63.0%を占めており、平成23年には31,890人、平成26年には35,535人になるものと予測されます。

認知症高齢者の現状と推計

(単位:人)

区 分	H20	第4期計画期間(H21～23)				H26	対H20 増減率
		H21	H22	H23	対H20 増減率		
高齢者人口 a	265,079	271,077	275,990	282,216	6.5%	309,301	16.7%
要介護認定者 b	46,116	47,799	49,568	51,320	11.3%	57,065	23.7%
認知症高齢者 c	29,031	29,755	30,779	31,890	9.8%	35,535	22.4%
高齢者に対する割合 c/a	11.0%	11.0%	11.2%	11.3%	-	11.5%	-
認定者に対する割合 c/b	63.0%	62.3%	62.1%	62.1%	-	62.3%	-

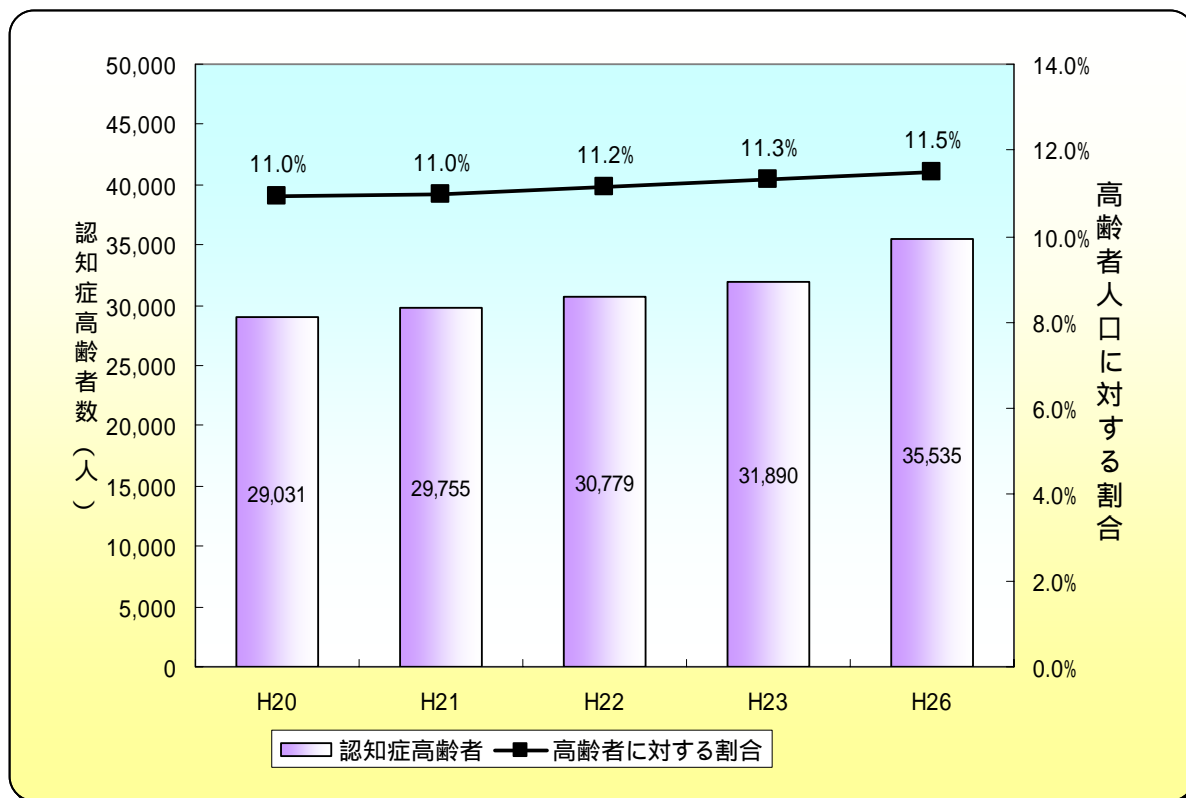
認知症高齢者の推計値については、要介護度別の認定者数に要介護度別の認知症高齢者の割合(「要介護度別の日常生活自立度ランクの状況に係る調査(平成20年10月1日時点)」より)を乗じて算出

各年10月1日時点

(注) 認知症高齢者とは、「『痴呆性老人(認知症高齢者)の日常生活自立度判定基準』の活用について」(大臣官房老人保健福祉部長通知)に基づき「ランク」以上に判定された者とした。

ランク	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
ランク	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。 a 家庭外で上記の状態が見られる。 b 家庭内でも上記の状態が見られる。
ランク	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。 a 日中を中心として上記の状態が見られる。 b 夜間を中心として上記の状態が見られる。
ランク	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。
ランクM	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

第2部 高齢化と要介護者の現状と推計



要介護認定者に対する認知症高齢者の割合

要介護区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
割合	9.3%	4.6%	77.4%	68.7%	79.4%	89.1%	95.7%

「要介護度別の日常生活自立度ランクの状況に係る調査(平成20年10月1日時点)」により推計
平成20年10月1日時点